

国際文化学科 世界と日本をつなぐ人材を育成

TOPICS
1

2年次から所属する3つのコースに横断型プログラム、「国際ツーリズムプログラム」を開設

多文化共生コース

文化のさまざまな側面を学び、異文化間の対話や交流の可能性を追求します。



世界と日本コース

「世界を学び日本を知る」ことで、多面的文化理解を志向します。



芸術・メディアコース

表現形式としての芸術と、情報伝達手段としてのメディアの観点から、文化の分析を行います。



国際ツーリズムプログラム 「観光客」「観光業」「観光地」など、国際的な観点から多面的に学びます。

NEW 国際ツーリズムプログラム

2年次から3つのコースいずれかに所属すると同時に、希望すれば国際ツーリズムプログラムを履修することができます。国際ツーリズムプログラムでは、海外から日本への観光客が増加している現状から、旅行や観光を社会文化現象として多角的に追究します。

日本有数の国際観光都市京都の立地もあり、観光に関する関心が高く、就職先にも観光系の企業を希望する者が多数存在します。そのような要望に応え、また、国内外の観光に対する関心の高まりに対応するため、現行の「多文化共生」「世界と日本」「芸術・メディア」の3コース横断型のプログラムとして「国際ツーリズムプログラム」を新設。旅行や観光を社会文化現象として多角的に追究します。学びを生かせる進路として、旅行・観光業界、ホテル業界、運輸・交通業界などに加え、地域の観光推進や、地域の活性化・復興などを担う公務員やNPO職員などが想定でき、幅広い分野での活躍が期待されます。



詳細は、国際学部 WEB ページにてご確認ください。 www.world.ryukoku.ac.jp/

龍谷国際 

TOPICS 2

旅行業務取扱管理者資格への万全のサポート

国内管理資格では **9名** が合格。合格率 **47.4%** (全国平均 36.0%)

観光・ホスピタリティ業界への就職に有利な国家資格「旅行業務取扱管理者」講座を毎年、学内で開講しています。2017年度は国際文化学科生も19名が受講し、国内管理者資格では9名が合格。全国平均 36.0% を上回る 47.4% という高い合格率を達成しました。旅行会社では法律で「営業所ごとに旅行業務取扱管理者を一人以上設置すること」と義務づけられていますが、社会でも高いニーズがあるこの資格取得に関して、万全のサポート体制を整えています。

TOPICS 3

留学しやすい学修環境

現4年生の **約60%** が留学を経験 (391人中、237人)

長期留学 131人、短期留学 106人 (オーストラリア、カナダ、中国、フィリピンなど)

国際文化学科では留学を必修としていませんが、強く推奨しており、留学先の学修成果を国際文化学科の単位として認定することで、4年間での卒業が可能な留学制度を整備しています。また、半年間以上の長期留学 (私費・交換) では龍谷大学の授業料を免除するなど、経済的なサポートも充実させています。

2017年度卒業生の主な就職先

・富士ゼロックス株式会社 ・バイエル薬品株式会社 ・京セラ株式会社 ・株式会社三菱UFJ銀行 ・楽天株式会社 ・京都府庁 など

2018年度卒業生の就職活動状況

5月現在で、グローバル企業 (メーカーなど) からの採用内定の報告が出ています。今後、国内企業からの採用内定の報告が増えていくことが予想されます。